

2年生総合科学コース サイエンス

「課題研究発表会」

3月19日（月）

本校総合科学コースの2年生が、1年かけて取り組んだ課題研究の発表会を行いました。来年度に課題研究を行う総合科学コース1年生も、意欲的に発表を聴いていました。質疑応答も白熱し、すばらしい発表会となりました。

「ベンハムの独楽」・・・独楽を回転させると、白と黒の色しか描かれていないのに色がついて見えた。この現象について興味を持ち、研究を行った。

「ミュラー・リヤー錯視」・・・錯視において矢羽の角度や色が、錯視に与える影響について研究を行った。

「身近なもので発電しよう～BunBun ゴマ～」・・・電気を身近なものでつくれるか、どうすれば強い電気を生み出すことができるのか、研究を行った。

「重力レンズ錯視」・・・重力レンズ錯視は、点の周りに大きな円を配置することで、主観的輪郭の近く影響を与える錯視である。点の大きさを変えたり、色を変えたりしてどのように見えるのか研究を行った。

「廃油からセッケンを作る」・・・食堂から出る廃油を利用してセッケンを作り、市販品と比較し、実用性のあるセッケンを作ることを目的として研究を行った。

「もち麦をつくろう」・・・福崎町の特産であるもち麦を育てて観察する。また、もち麦の栽培の練習としてライ麦やレタスを育てた。

「発電機をつくろう」・・・身近な物で発電機を制作し、発電させる。

「チョークの再生」・・・チョークを再生して、市販品と性能を比較し、実用性のあるチョークを作ることを目的として研究を行った。



ベンハムの独楽



ミュラー・リヤー錯視



BunBun ゴマ



重力レンズ錯視



廃油からセッケンを作る



もち麦をつくろう



発電機をつくろう



チョークの再生